

連載山山アートセンターをつくる 第28回春がきた...

「春にならたら」と言ってたくさんのことを見送りにしていたのに、どうどう紛れもなく春がきてしまったのです。「春にならたらタネをまくんちゃうん? 春ちゃうん? 待ちきれないとんやけど?」と娘がせついてくるのです。
ああ待って! タネまく前に土たがやして鹿よけの柵を張らないとあかんのよ...!

近況報告。

「子育て中の主婦」「山山アートセンター代表」に次ぐ新しい肩書を手に入れました。

複合福祉施設Ma・RooTs(マ・ルート)の「広報兼アートコーディネーター」です。

なんじゃらほい。

特別養護老人ホーム+保育所+障害者通所施設+学生向け研修センターの複合施設として2017年9月宮津市波路にオープンしたのがこちら、マ・ルート。「ごちゃまぜ」を理念に掲げ、京丹後市を拠点とする社会福祉法人「みねやま福祉会」が運営しています。4月3日からは、キッチンカーを利用した「ピクニックカフェTEO-TORI(テオトリ)」がオープン(平日限定)。待ってました、春!

話題のニューススポットですのでぜひお見知り置きを。

なんせ海! 宮津湾や天橋立を望む絶景なのです。びっくりしに来てください。私の家からはまあまあ遠いけど、海が見られるなら苦じゃない!

テオトリの営業はランチタイム11:00~14:00、ティータイム14:00~17:00ですのでお気軽にお越しを(施設は年中無休ですがカフェ営業は平日限定なのでご注意)。

詳細はマ・ルート(tel:0772-20-1150)へお問い合わせください。

新しい場所なのでまだまだこれからなところがたくさんありますが、だからこそここへ私がアート視点をぶっ込んでいく役割をいただきました。なんてたって「ごちゃまぜ」のことならお任せください! 海のものとも山のものとも知らないとはまさに私のことですが、自己流すぎるこれまでの活動が組織でお役に立つ日がくるとは思ってもみませんでした。それもこれもひょうたんのおかげ... (詳細はイシワタマリへお問い合わせください)。

そしてこちらもようやくオープンしそうでなかなかしない、山山のwebサイト。

これまでの活動をまとめた小冊子と合わせて鋭意制作中の年度末でございます。

「年度」という言葉は味気ないけど、春の訪れを1年の節目とする風習は美しいと思う。

皆々さまに手を合わせつつ、山山アートセンターは新たなステップへ、春!

イシワタマリ...「山山アートセンター」代表、美術家。

横浜の新興住宅街・満員電車・絵本の世界で育つ。ニューヨークで「アート」の存在を知り、スペイン北部バスク、ベルリンなどで修行したのち、結婚を機に京都府福知山へ。山奥の三岳エリアに暮らして5年。未熟ながら二児の母。趣味はもがくことと異文化交流。2018年より、複合福祉施設マ・ルート(みねやま福祉会/宮津市)にて広報兼アートコーディネーターを担当。

慈しみ、共に生きていくことを推奨する活動をしている。絵を描いたりするよ。www.hisamiyoshii.com

球体アイ...大阪生まれ、京都府綾部市在住。発掘現場や骨董市場で働きながら「陶芸ができる面白いこと」を探求してきた。現在は食器やブローチ、タイルやオブジェなどを作りつつ、副業として金縫ぎも行なっている。生まれたての第2子がすでに第1子(3歳)を上回る肥え方で高僧の貫禄。

活動スケジュールや記録アーカイブなどをまとめたwebサイトがオープンします!(4月下旬予定)
www.yamayama-art.com

オープンまでの間はfacebookページおよび、Instagram(yamayama.art.center)とかtwitter(@mari_yamayama)をのぞいてください。

題字:吉井久美(温泉二叶) 撰文:吉井久美(温泉二叶)

◆

図案・レイアウトデザイン:イシワタマリ・清井ゆうみ・はやしたつ

◆

発行:山山アートセンター/暮らしの中で旅をしよう

◆

京都府地域再生プロジェクト支援事業
YAMA YAMA ART CENTER

facebook:山山アートセンター
yamayama.art@gmail.com
080 6311 8729 (担当:水田)

このあたりの
へ

おはようございます。今日はまたまたおはようございます。おはようございます。

(毎月2回発行雑誌「田舎」)

この号の特集

田舎

眼



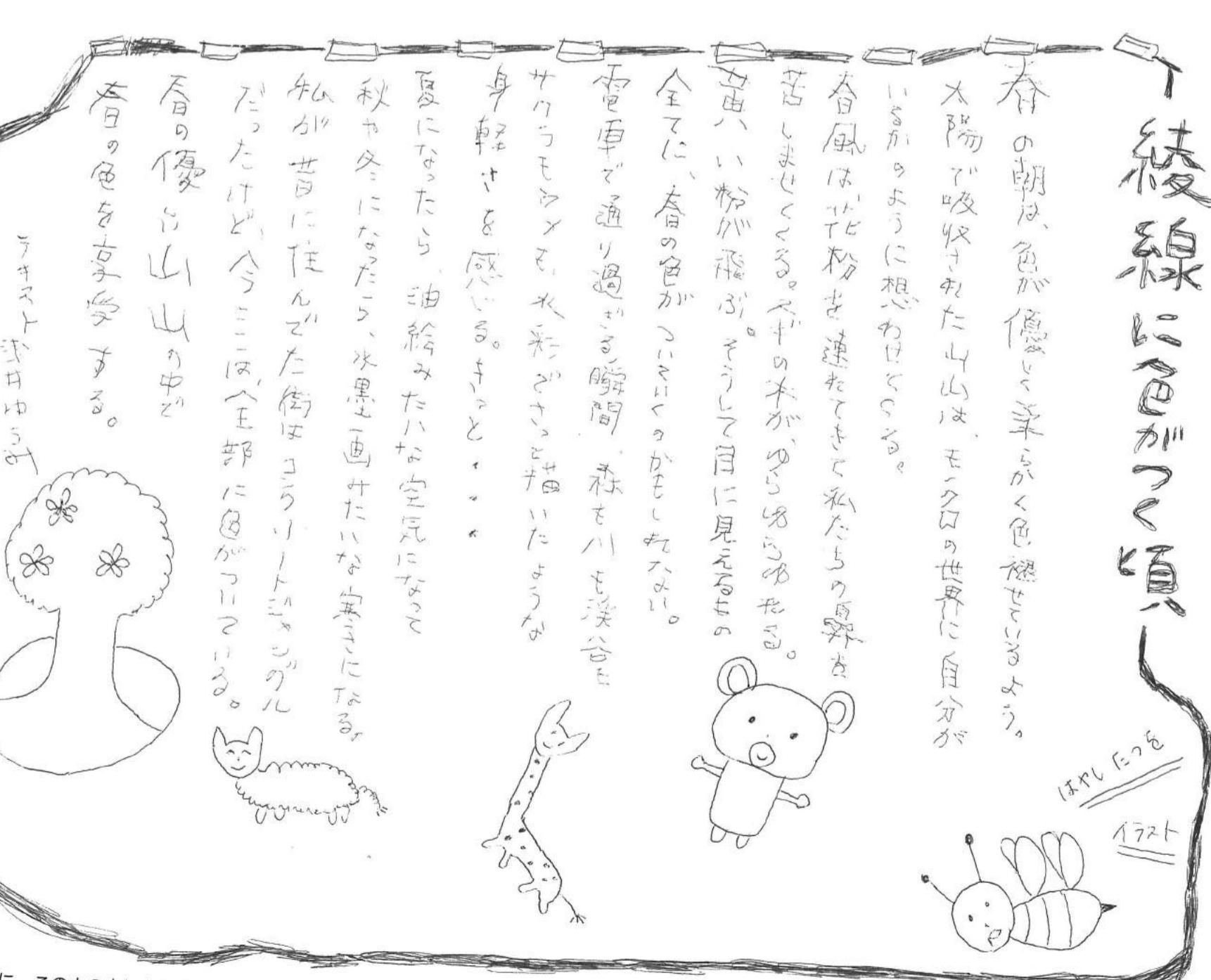
【編集後記】3月末。見るからに優秀そうな大学生2名が、「ヒマしているので」と言ってしんぶん編集（のりとはさみでひたすら切り貼りする）をしてくれる。救世主！大学生は無敵だ。3年後、5年後、この人たちがヒマしている時間に遭遇できるだろうか。そもそも充実したキャンパスライフを送っているに違いないこの2名、今日がたまたまヒマという偶然をありがとうございます。
「バタバタ」するようになったのはいつからだろう。ヒマすぎたから「このあたりのしんぶん」を作り始めたのにもかかわらず、今の私はいつもあまりにもバタバタして余裕がない。
心にゆとりを持ちましょう・・・。ゆとりのない主婦として日々を過ごしていることを家族にも周囲にも詫びたい。こんなことにならざるを得ないほど切羽詰まって生きていることをわかってほしいとも願いつつ。
さて、「山山アートセンターをつくること」にご協力いただける方をいつでも募集しています。くる者拒まず去る者追いません。些細なことで結構です。みんなそれぞれに自分の人生に忙しくて、大事なことがなにかわかっている人はそれを大事にすれば良いで、すでに忙しい人をもっと忙しくすることは私はできなくて。優秀だろうがそうじゃなかろうが、絵がうまかろうが下手かろうが、そんなことはお構いなく、偶然にも今日がヒマな人を探しています。
「ヒマ」っていう状態の美しさを分けてほしい。
私に分けられるものは何があるでしょうか。
「このあたりのしんぶん」、次の発行は6月末の予定です（イシワタ）



福知山ワンダーマーケット（毎月第4日曜日10:00～福知山新町商店街）
の販売ブースはいつも人だかり。

滝町昌寛
京都府福知山市出身、
山伏、獵師、そして絵師。京都市出身、
明智光秀や大江山酒呑童子といった地域

からくりの絵柄を箱に描いた「マチガニ」



の「おはようございます」。おはようございます。おはようございます。

『ウタコの裏日本経道中日誌』裏日本のみなさまこんにちは！春が来たと思ったらスンっと遠ざかりまた近づく、そんな日々。先日、与謝野町に茂木健一郎がやってきたヤアヤアヤア！ということで万障お繕り合わ

かさも、ええとこどり出来るのは田舎、ついては裏日本の特権なんじゃない？と激しく興奮する3月。オタクヒヤンキーというのもキーワードで、なかなか出会いの人が会うと化学反応が起きると。カツアゲ的なものではなくて

『一人学級崩壊』。2時間半もの長丁場を2秒と止まらずずっと壇上を動き続け、ぱりぱり頭をかきふらふらして動く自由さに衝撃。もちろん話題も衝撃。与謝野町って行った